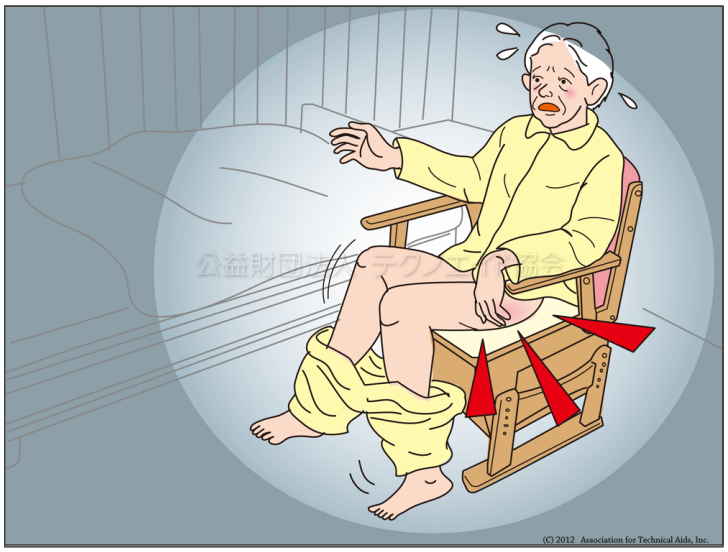
Case：86

利用者の臀部がポータブルトイレの中に入り込んでしまう

場面の説明

やせている人が、体に合わない便座を使用していた



利用シーン	排泄 夜間
主な利用場所	寝室 トイレ
介護保険の種目	腰掛便座
分類コード (CCTA95)	091203 (ポータブルトイレ)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

標準的な大きさの便座でも、お尻の肉が落ちている人にとっては大きすぎる場合があります。無理をして使用し続けると、痛みが出たり皮膚に傷を作る原因にもなります。小さなサイズの便座や、便座の上に置くパッドなどの利用をお勧めします。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：利用者のお尻のサイズと便座のサイズが合っていない
環境：部屋が暗くて見えづらかった

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：86

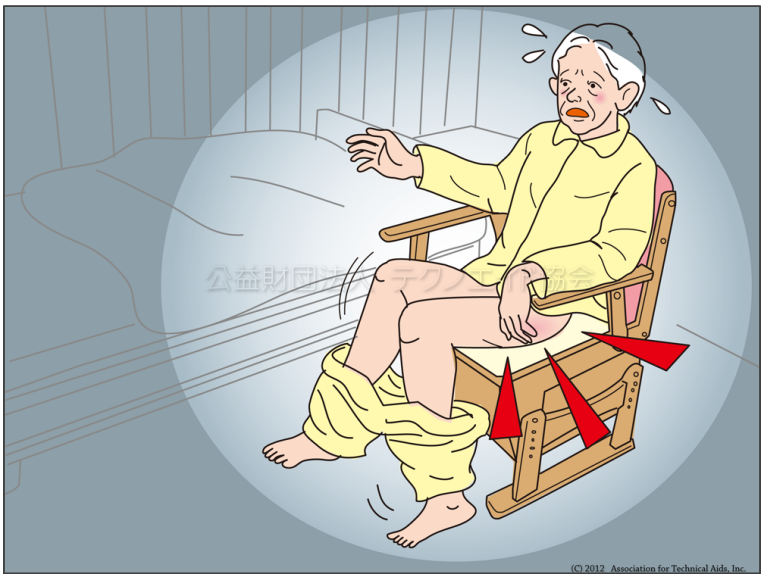
利用者の臀部がポータブルトイレの中に入り込んでしまう

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

やせている人が、体に合わない便座を使用していた



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.